

平成28年度第1回河南町地域公共交通会議 会議録（議事要旨）

- 日 時 / 平成28年12月14日（水）午後2時00分～午後4時30分
- 場 所 / 総合保健福祉センター（かなんぴあ） 2階 大会議室
- 出席者 / 委員23名／欠席委員7名
事務局4名
傍聴者6名
- 配布資料
 - ・議事次第
 - ・委員名簿
 - ・前回議事要旨
 - ・資料－1：河南町地域公共交通見直し案
 - ・資料－2：スケジュール案
 - ・参考資料1：バス停・停留所別乗降人数（2月～11月実績値）
 - ・参考資料2：バス停・停留所詳細図（見直し路線）
 - ・補足資料1：金剛バスへの乗り継ぎ本数の比較
 - ・補足資料2：地域公共交通の見直しに関する意見交換結果報告
- 議事次第
 1. 開会
 2. 挨拶
 3. 委員紹介
 4. 協議事項
 - （1）見直し案（資料－1）
 - （2）スケジュールの確認（資料－2）
 5. その他
 6. 閉会

○協議事項

■見直し案について

事務局から見直し案について説明。

- ◇循環バス・山手路線の町負担額2,750万/円、町民1人当たりの負担額は1,744円/年
- ◇南部循環B・日曜便の運行は現状の収支率、運行内容では継続が難しく見直す。
- ◇南部循環の見直し内容はA、B、日曜便を統合し、毎日運行とする。鈴美台・芹生谷の利用状況が低いため、今後検証し、見直し・休止の検討を行う。
- ◇南部循環の見直しにより休止となる地域は山手路線で対応。
- ◇回数券の導入の検討を行う。
- ◇山手路線の見直しについては、南部循環バスB見直しにより休止ルートとなる地域を山手路線Aで対応し、山手路線Bについては、馬谷地区のルート変更を行う。運行日については、火水木金4日間とし、運行時間を午前9時台から午後4時台とする。今後は利用状況によっては新たな交通システム（デマンド）も検討していく。
- ◇金剛バスとの乗継を検討した結果、毎時0分発での運行が望ましい。

事務局から地域公共交通の見直しに関する意見交換結果報告について説明。

- ◇運行事業者と協議した結果、見直し案の結果となった。
- ◇地区長と協議をさせていただいた結果、北部については変更なし、南部については、中村地区で一部バス停の見直し、馬谷地区では車両が小型になることから地区内の通過との意見があった。また、加納地区からはやまなみタクシーの運賃の見直し（200円⇒100円）要望があった。
- 料金体系について、料金だけ見たら安価な方がいいと考えられるかもしれないが、半額にするということは評価のうえでは倍の利用していただかないといけない。現状でも利用者が少なく、廃止の検討をされている地域であるので、よく検討しなければならない。
- やまなみタクシーを半額にすると収支も下がることとなるが町財政的には問題ないのか。
- 河南町の地理的な条件から集落地が点在しているため、政策上、運行していく。
- 効率のいいものであれば皆さん利用されるので、低コストで利用できる。しかし、利用されなければ、徐々に非効率なシステムに移っていかざるを得ない。それは当然負

担がふえるということは基本の話である。従って循環バスBの利用者が、山手路線に移らざるを得ないというのは、日ごろから利用していなかった結果として、効率的な体制でやっていたのが利用し切れなかったために、非効率なシステムに移っていかざるを得ない。それは、当然、高負担にならざるを得ないというのは当然のことである。住民みんな平等だという意見があるかもしれないが、基本的には、効率がいいものは低コスト、非効率なものは高負担にならざるを得ないというのは、平等じゃなくて公平という観点から必要なことではないのか。

→料金体系については、100円で統一し実証実験を行う。

◎見直し案のとおり運行内容及び料金体系について承認

■スケジュールの確認について

事務局からスケジュールの確認について説明。

◇今後、関係機関との協議・申請を経て、平成29年2月から見直し案に基づき実証運行を行う。

→料金体系について金剛バスとの関係を配慮し、行うこと。

→循環バスというのはほとんど路線バスに重複している路線で、今回のやまなみタクシーについては山間部でほとんど路線バスがないところです。従って、もともと循環バスで100円で運賃設定し運行しておりましたので、実証運行開始当初から金剛バスさんのほうにはその都度お話はさせていただいている。

◇評価方法については今後の課題として残るため、本日の交通会議の後に評価基準というものをどうすべきか検討してまいります。従って次回の検討会議等でご判断をいただきたい。

■その他

◇高齢者の方の自動車の事故というのが問題になっている。免許返納について、河南町としても今後、実際今のコミュニティバスで対応できているというのものもあるかと思うが、現時点で何かそれについての考えは。

→高齢者の事故というのは10年前に比べたら1.2倍に増えているということで、大阪府のほうでそういう返戻者に対するサポート制度が実施されている。例えばスーパーの

ほうで10%割引といった制度が今拡充しており、河南町の住民の方にも周知はさせていただきたい。その中で河南町としてという話ですけども、先進地の市町村では例えば地域のコミュニティバスでの返納者に対する免除をされたりしており、河南町におきましても今後そういう返納者の方につままして先進地の事例を踏まえて検討させていただきたい。